

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 2 月 15 日

事業所名 さくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0		
	2	職員の配置数は適切である	9	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	勤務開始・終了時、事業所会議時に話し合いをしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	評価表以外にも面談時や送迎時に保護者の意見を聞いている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	各家庭に配布している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9		外部評価を今後受けて、業務改善へつなげていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	法人内での研修も行っている。	外部の研修の他、リモート研修への参加も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	情報共有の場を多く持つことで計画の質の向上をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	7	保護者から頂いたデータについては、参考資料として保管し使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	ミーティングの場で活動についての話し合いを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	保護者に子どもの好きな活動を聞き、取り入れている。	学校教員と情報共有したことを参考に活動プログラムの選択肢を増やしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3	利用時間に応じた課題を一人一人行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	利用児に対するケアの役割分担についても細かく確認するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	気づきを共有できるように記録に記入し、供覧している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	記録については職員全員で供覧・捺印しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	課題点や出来る事について、支援終了時に話し合っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	0	アセスメント時に病院名と連絡先を聞き取っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	担当者会議時や利用前に児童発達支援事業所等から情報を頂いています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	担当者会議で事業所の情報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	お互いに情報共有を行い研修も受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9		今後、要望があれば対応していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	0	山口県障害者福祉サービス協議会や児童通所分科会に所属し参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	送迎時には、その日の子どもの様子など保護者との情報共有に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	送迎時や個人面談時にペアレント・トレーニングの説明や練習を行う機会を作っています。		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	・連絡帳を使い保護者と密に情報共有をしています。 ・希望のあるご家族には個人面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	3	送迎の時などを利用して保護者同士の話す時間を確保している。	コロナの影響で行えていないが、今後落ち着いてから再度行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	意見箱を設置し、苦情を挙げやすいようにしている。苦情があった場合には苦情検討会議にて検討している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	年に4回広報紙を発行しご家族や近隣の方へ配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	個人情報の記載がある資料については鍵付きのロッカーで保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	絵カードや実物を使って分かりやすくしている。伝わりにくい時は紙へ記入し渡している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9	地域住民が活動するスペースの準備はできており、いつでも来訪できるようにしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	緊急時・感染症マニュアル策定し職員に周知しています。	マニュアルの周知が保護者には出来ていない為、玄関に置いてあるマニュアルについて説明をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年2回地震・高潮・火災を想定して避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	職員会議時に虐待防止の勉強会とチェックリストを行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	アセスメント時に保護者から聞き取りを行い特記事項として記入して頂いている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ヒヤリハット発生時に書類を作成し全職員で共有している。	